

令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県央会場

科目 ⑧放課後児童クラブに通う子どもの育成支援

- ◆ 育成支援の内容やエピソードから、保護者に継続的に子どもの様子を伝えること、学校と情報交換をし、円滑な連携が必要なこと、地域とつながることの大切さを改めて感じました。子どもとの関わりやコミュニケーションを通して、普段の健康状態や特徴を把握すること、職員間で情報を密に共有しておくことがとても重要なことだと日々感じます。子どもを職員の多様な目で見ながら、その日の様子を記録にしっかり残し、事例検討や申し送りの時間を取りながら、個々の子どもに対する理解を深めていきたいです。
- ◆ 放課後児童クラブが行う具体的な支援において、まずは子ども一人ひとりの「いつも」を把握すること、そして些細な変化に気づくこと、職場内の全員が気づきや情報を共有し、適切に支援すること、毎日の記録や事例検討から支援内容の充実や改善へ展開させていくことが基本にあることを再確認した。また、子どもの主体的な活動への環境整備と支援方法に工夫が必要であることや子どもの様子を日常的に丁寧に保護者に伝えることが重要であることを学んだ。
- ◆ 子どもの様子を保護者に日常的に伝えるためには、普段からしっかりと様子を把握し、小さな変化に気づくことが重要だと感じました。また、積極的に関わってこない子どもにも、例えば漫画を読んでいる隣に行って声を掛けるなど、積極的に関わる大切さを学びました。さらに、保護者への情報発信については、紙媒体だと読まれない場合があり、媒体の選択が課題であることも学びました。
- ◆ 放課後児童クラブの支援員として、子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるよう援助し、クラブの生活に主体的に関わることができるように、子どもの意見を尊重し、一緒に遊び。相談事や悩みを話せるような信頼関係を築く支援員を目指したいと思います。また、保護者が安心して子育てと仕事等を両立できるように支援していきたいと思います。子どもにも保護者にも寄り添い、一人ひとりの思いに配慮するように心がけていきたいと思いました。
- ◆ 本研修を通して、子ども一人ひとりの発達段階に応じた育成支援が大切だということを感じた。また、普段から子どもの様子を常に把握することが重要だと感じた。子どもと遊んだり、会話したりすることで子どもの普段の姿を観察できる。普段の姿とは違う姿があったときに、それらを見極めるためには平日頃の子どもの関わりが必要不可欠。支援員として、丁寧に関わることで、子どもたちの育成支援につなげていきたい。